

人道支援・災害救援共同訓練（クリスマス・ドロップ）



第1輸送航空隊第401飛行隊は、12月4日（水）から17日（火）までの間、ミクロネシア連邦等において実施された人道支援・災害救援共同訓練（クリスマス・ドロップ）に参加しました。訓練はアメリカを中心に実施されており、日本のほかオーストラリア、カナダ及び韓国が参加しました。航空自衛隊は、2015年からC-130H輸送機により参加しています。

主な訓練内容は、各国とともに実施する「物料梱包」及び「物料投下」です。物料梱包訓練においては、参加国及び現地ボランティアから提供された災害救援物資を、参加国隊員、現地ボランティアと共に協力し梱包することにより、能力の向上と相互理解を深めることができました。また、物料投下訓練に関しては、飛行経路、投下場所、投下要領、天候気象及びその他運航に必要な事項等を最新の情報に基づいて飛行計画を作成し、物量梱包訓練で梱包した災害救助物資をミクロネシア連邦等の島に安全確実に投下し任務を完遂しました。

本訓練では、太平洋島しょ国の広大な地域に分散している島へ実任務に近い環境で物料投下を行うことができる貴重な、有意義な機会であり、各国との共同訓練を通して我々の技能を高める非常に重要な訓練です。

本訓練を通じてミクロネシア連邦等に物資と笑顔をお届けるとともに、現地ボランティア等と活動を共にすることでミクロネシア連邦等の安定に貢献する航空自衛隊の活動に対する理解促進に寄与することができました。加えて人道支援・災害救援に係る能力の向上及び米空軍を始めとした参加国との連携強化を図ることができました。



令和6年度 基地餅つき



小牧基地は12月13日（金）輝かしい新年を迎え、かつ、基地所在部隊及び基地周辺住民等との絆を深めるために日本の伝統行事である餅つきを行いました。

午前中は、基地協力会及び周辺自治体区長等をご来賓に迎え、2回の餅つきを行い、餅丸め後は振る舞い餅として「おしるこ」を提供し、楽しい歓談のひと時を過ごしました。

また、第1輸送航空隊「絆の日」ということもあり、部隊毎順番に力いっぱい杵を振り、たくさんの笑顔に包まれながら餅をつき、親睦を深めることができました。



安全行事 ～ダルマの眼入れ～



第1輸送航空隊は、12月19日（木）ダルマの眼入れ行事を行いました。これは、第1輸送航空隊における飛行安全及び地上安全を祈願して、年初の1月にダルマの左目に墨を入れ、年末に1年の無事を祝し、右目に墨を入れて披露するものです。令和6年は様々な任務に対応しながらも隊員一人ひとりが高い安全意識をもち地道に事故防止に取り組んだおかげで1年間を無事に終えることができました。現在、第1輸送航空隊は、飛行安全褒賞連続27回を受賞し、無事故を継続中です。地上安全においては褒賞受賞できるよう安全意識の更なる高揚を所属全隊員が再確認し、この1年間を振り返る大変有意義な安全行事となりました。